

伝統が現代に  
舞い降りる  
珠玉の七日間

# 美人画 花鳥画 仏さま

2018

3.19<sup>月</sup> → 3.25<sup>日</sup>

11時～18時(25日は16時まで)

初日にオープニングパーティあり ※詳細は裏面

## みついい画廊

(横浜関内駅下車 3 分)

〒231-0041 横浜市中区吉田町5-1

☎045-261-3321 (早川画材店)

[mitsui.co.hayakawa@nifty.com](mailto:mitsui.co.hayakawa@nifty.com)

【問い合わせ】[pardsky7@beige.ocn.ne.jp](mailto:pardsky7@beige.ocn.ne.jp) ☎045-741-6822 秋元和夫(霞翔)

【後援】一般社団法人 桜蔭会(神中・神高・希望ヶ丘高校同窓会)





2015年、琳派誕生400年に因み、「憧れの江戸琳派そして京都展」を開催して、早や3年。花鳥画に加え、前回ご披露できなかった美人画、仏画を開陳すべく圧巻の個展を開催いたします。万障繰り合わせの上、是非、お越しくください。

## 題して「美人画・花鳥図・仏さま」

美術館のガラス越しに絵を鑑賞するスタイルはやめにして、毎日、直接、絵を鑑賞しませんか。自宅に飾り、日々絵とともに生活してみましよう。生活が豊かになります。

**美人画**―着物、洋装、水着、喪服と装いも様ざま。

物憂げな、あるいは、浚刺とした美人の姿をお楽しみください。

**花鳥図**―桜、牡丹、朝顔、コスモス、紅葉・・・四季折々の可憐な花々をご覧ください。

ほとんどすべての草木が自宅駐車場跡の鉢植えです。

**仏さま**―AD538年にこの国に伝来した新興宗教。信仰を集めた仏さまたちを描いてみました。

仏画は信仰の対象のため落款しないのですが、あえて落款を入れて作品としました。ご鑑賞ください。

その他、1972年以来通い詰めた京都の大判写真、志野焼、織部焼の自作陶器も展示&即売します。

乞う、ご期待！



“ちーがーうーだーろー！  
ダビンチか秋元か”

友人 菊谷節夫

秋元“天才”の個展が開かれます。前にもご紹介しましたが、私たちの間では“天才”と呼んでいます。ダビンチか秋元かと、そこまで言うところでは「ちーがーうーだーろー！」と声を荒げる人も出てきますが、まず彼の絵を見てほしい。個性とひらめきにあふれています。美的センスも、ばっちりです。このことは本人の口からはなかなか言えませんが、私から「嘘じゃないよ」と声を大にして訴えます。個展を開くというのは、本当に羨ましいばかりです。そして多くの人に見ていただけるという事は、本人にとって嬉しい限りです。私たちにとっても大きな喜びを得ることができるでしょう。まずは、会場にお越しください。できれば、家族、友人と一緒に誘い合わせてご来場下さい。お待ちしております。

## 絵師 秋元和夫(霞翔)



1948年生まれ。大学卒業(1972年)と同時にカメラを持って京都に通い始める(京都検定2級)。カメラは蛇腹付きの4×5の大型になり、いつしか絵も描き始める。また、音楽、陶芸にも造詣が深く、詩吟(師範)、ピアノ(ジャズ)、ケーナ(アンデスの葦笛)、バラライカ(ロシアの民族楽器)、龍笛などを演奏する。生業はカウンセラー。2015年に「憧れの江戸琳派そして京都」と題して個展開催、好評を博す。

## ◆ ◆ ◆ ケーナと日本画を楽しむ オープニングパーティ開催 ◆ ◆ ◆

3月19日(土) PM5:30～(持ち込み歓迎)

作者によるケーナ演奏  
「コンドルは飛んでいく」  
「花祭り」等あり

先着百名様に、  
焼印入りの枡を進呈。  
色紙大の絵、廉価販売  
(売り切れ次第終了)